

蘭嶼から採集されたザウタコメツキダマシの記録

鈴木 互

〒 211-0031 神奈川県川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科 (wsuzuki@hosei2.ed.jp)

A record of *Raapia sauteri* Fleutiaux (Coleoptera, Eucnemidae) from Lan-yu Island, southeast Taiwan

Wataru SUZUKI

Summary. *Raapia sauteri* Fleutiaux, 1929, has been recorded only twice in the main island of Taiwan. In this short report, it is recorded from Lan-yu Island, southeast Taiwan for the first time.

ザウタコメツキダマシ *Raapia sauteri* Fleutiaux は、1929 年の原記載以降まったく記録のなかった種であるが、最近、台湾南部で再発見され、その形態について明らかにされた (鈴木・謝, 2014)。筆者はその後、記録のなかった台湾南東部沖の蘭嶼で採集された個体を検する機会を得たので、ここに記録しておきたい。

報告するにあたり、標本の調査で大変お世話になった台湾省行政院農業試験所の李奇峯博士、撮影した写真の掲載を許された鍾奕霆氏に厚くお礼申し上げる。

1♂2♀♀ (Fig.4), 台湾省台東縣蘭嶼天池, 2. IV. 2014, Y.-T. Chung leg. (台湾省行政員農業委員会 農業試験所保管)。

今回、雄個体を初めて検することができたが、



Fig. 4. *Raapia sauteri* Fleutiaux, 1929, adult female (Lan-yu Is., Taiwan, photograph by Mr. Yi-Ting Chung).

雄も触角が第3節以降強く櫛歯状を呈し、外観は雌によく似る。しかし、雄は雌に比べ体形はより細いこと、前胸背板の点刻はより粗雑であるなどの違いが認められた。

雄の交尾器 (Figs. 1–3) は淡黄色で、細長く、基部幅の約 4.5 倍。側片先端部 (Fig. 3) は、図に示したような形状を呈し、かぎ状突起は後方に鋭く尖る。

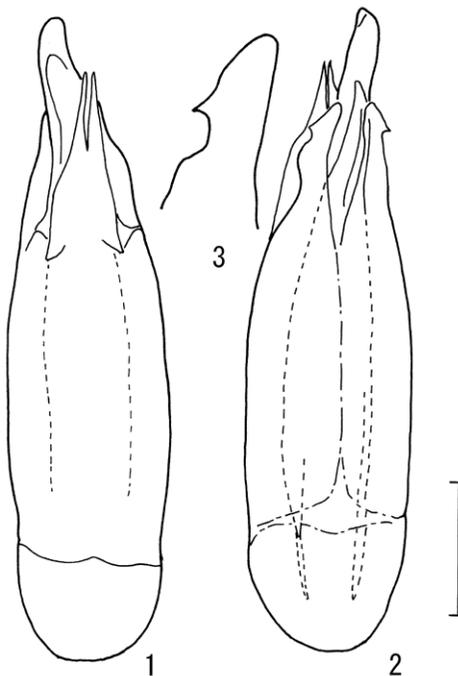
蘭嶼産の個体は 2012 年に台東縣知本で得られた個体との間に違いはほとんど認められなかった。ただ、今回の蘭嶼産の個体は全体が黒色を呈しており、頭部、小楯板中胸腹板が強く赤みを帯びた知本産のものとの間に微妙な違いが認められた。Fleutiaux (1929) の原記載では、全体の色彩は黒色となっているので、色彩の違いは地域による変異というより、個体変異と考えた方が良いでしょう。

引用文献

Fleutiaux, E., 1929. Melasidae nouveaux (Col.). Bulletin de la Societe Entomologique de France, 1929: 206–29.

鈴木 互・謝 瑞帆, 2014. 台湾南部で再発見された *Raapia sauteri* Fleutiaux というコメツキダマシ. さやばねニューシリーズ, (14): 3–7.

(2016 年 1 月 18 日受領, 2016 年 2 月 26 日受理)



Figs. 1–4. *Raapia sauteri* Fleutiaux, 1929. 1, Male genitalia, dorsal view; 2, ditto, ventral view; 3, apex of left paramere, ventral view. Scale: 0.59 mm for 1–2; 0.49 mm for 3,